

お手紙ですよ

～じいひなんママのきもちが奏でる～

ぼろろん

もくじ

- ごあいさつ/あれから4年、子どもたちは.. 1
- 「転勤」と「自主避難」はどう違うの?..... 2
- 数字のページ..... 4
- GOOD NEWS!..... 5
- 森のつみ木広場 オイスカ..... 6
- ときがわ町..... 7
- 埼玉で見つけた美味しいお店..... 8

このお手紙は、自主避難のママと埼玉のママが出会って作りました。

埼玉には1200人弱の自主避難者がいます。

わたしたちはまだ約100人としか出会えていません。

もっともっとたくさんの自主避難ママたちと出会って、少しでも「つらいこと」

「迷っていること」を、ともにお話できたらいいな—と思っているのですが...

前号の「ぼろろん」発行から、新たに、10人のママと出会えました。

まだ出会えていないママと出会いたいと思い、このお手紙を書きました。

お手紙ですよ ぼろろん♪/0 (南相馬市原町区→坂戸市)



震災当時、小学7年生と2歳だった娘は、5年生と年長になりました。長女は、目の前で道路が地割れしたせいで地震のトラウマがありました。現在はだいぶ落ち着いてきました。2人の娘は、のびのびと成長し、訳りもなく完全に都会っ子。福島島の記憶はほとんどなく、こだわっているのは親だけなのかもしれません。とはいえ、福島島の祖母とは毎日電話で話している、おおあちゃん子。おおあちゃんに褒めてもらいたくて、勉強やお手伝いを頑張っています。



(いわき市→川越市/Sさん)

この4年をふりかえると子どもは柔軟で純粋で強いな〜と感心します。

たくさんの不安を持って足踏みしながら生活している私と違って、一生懸命その場に溶け込み前に進んでがんばってきた。私もそんな子どもたちから、この場所での楽しみを見つけることを教わり、楽しく生活しようとかんがるようになりました。そういう意味では、子どものほうが先輩でした!



(福島市→さいたま市/Kさん)

当時、長女、年長、長男、年少。次男、わたしのおなかの中。今、4年生、2年生、3才♪と、ずいぶん体も大きくなり、自己主張もでてきたのもしくなりました!今まで本当に色々な事がありすぎて、心に傷を負ったり...

そんな中子どもたちはどんどん成長して元気に生活しています。わたしは...今やっとそとに出てきた感じで...今までなにやってたんだろう...と言う感じです(涙)もう、4年たちますが、思い返すとあっとゆう間に過ぎていったように感じます...



(いわき市→上尾市/Mさん)

あれから4年、子どもたちは

ママからみた、子どもの4年を教えてください。

震災直後息子は中1、娘は小3、祖父母と離れ離れになったので今では年に2回、南相馬市に帰省します。帰り際祖父母との別れの時、息子は目を合わせると泣いてしまうので、車の中で一人涙をこらえる姿が胸を熱くさせます。別れに辛さが増していくのは、普段無口な祖父だからこそ。そんな祖父の存在の大きさや、優しさの大切さをこの4年で息子は学べたんだと思いました。

(南相馬市原町区→さいたま市/Tさん)



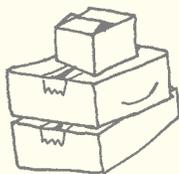
小学高学年での突然の転校は辛く「元の学校に戻りたい」と転校初日に兄妹で大泣きしたあの日から3年半。今では反抗期真っ只中の中学生になりました。自分の事も上手く伝えられない時期の子どもたちに、この現状がどうとらえられているのか、もう少し時間が過ぎて自分の言葉で伝えようとした時に聞いてあげる事にします。私のバースデーだった昨日、文句を言いながらも息子は夕食の洗い物を、娘はお米を研いでセットしてくれました。今は、やり直しなど出来ない子育ての大事な時期です。無事に成長してくれるのを見守ります。



(白河市→さいたま市/Tさん)



「転勤」と「自主避難」は違うの?」



本来、家具をおくべきところに段ボールで生活していました。なんとなく常に「仮の住まい」という気がしています。1000円で買えるゴミ箱を何となく買えないし、なんとなく花も飾れないの。

(白河市→さいたま市／Tさん)

転勤だと仕事があるのが前提だけれど、避難は仕事がないから、経済的にきついよね。

(いわき市→川崎市／Sさん)

地元には罪悪感があるし、「家を処分してまで逃げる必要ないでしょ」と言われた。でも、こちらに来たら肯定してくれる人がいる。かと思えば、「え、まだ避難してる人がいたの」っていう人もいる。人によって違うし、ずっとつらいつらいって思っていたけれど…それを少しでもチャンスに変えたい、と思います。

(いわき市→川崎市／Sさん)

ご近所付き合いをしてません。自治会にも入っていないくて、自治会費も払っていないの。避難だから、なのかな…

(南相馬市→坂戸市／Oさん)

自主避難は、住み替えたくても賠償もないので我慢するしかありません。行政に訴えてもダメと却下されて…周りには住み替えたい人がたくさんいるけれど、我慢していますね。

(栃木県に自主避難中／Oさん)



先のことが、具体的には何も決まっておらずとも焦りを感じて落ち着かない…。希望としては、狭い避難住宅ではなく、ただいまと帰ってきて、ふつうにリラックスでき、ふつうにある程度のプライバシーがあり、ふつうに子どもが友達をよべるような楽しい我が家を確保して、地に足がついていると感じながら生活したい!

(福島市→さいたま市／Kさん)

住宅支援が切れたら、福島に戻るしか選択肢はありません。

(栃木県に自主避難中／Cさん)

今のところに住み続けたいです。もし出ていけ、と言われてたら、家を探すしかないのかもしれないけど、また子どもが1からやり直すのは、かわいそうです。

(いわき市→上尾市／Mさん)



避難先が実家なので、住宅支援は受けていませんが戻ることは考えていません。

(郡山市→栃木県／Aさん)

住宅支援が打ち切られても、子どもの健康のために避難は続けたいので、働くしかないと思っています。自分のせいではないのに、世知辛い、と思います。

(郡山市→新潟市／Iさん)

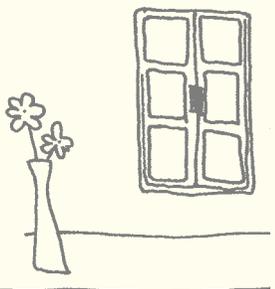


住宅支援が終わる時期によらず自分たちで福島に戻る時期を決めたいと思っています。住宅支援が終わってしまったら自費で払うことも考えられます。できるだけ長く支援が続くことを望みます。

(栃木県に自主避難中／Bさん)

子どもにもここで築いてきた子どもの世界があって、これからの進路や夢も現在の土地以外では考えたくないと言います。ある意味、今の学校生活が充実しているということだと思うので、原発事故のせいでこれ以上子どもをふりまわしたくないと強く感じます。原発事故で汚されたから避難、除染したから住宅支援打ち切りと言われても、今の福島に戻っても避難前と同じく落ち着いて生活ができるとは思えないし、子どもの思いもある、私も安心して育てたいという気持ちがあるので避難生活を続けることは決めています。

(福島市→さいたま市／Kさん)



「自分の家」がほしいです。拠点かほしいの。「避難」なんだけど、やっぱり、「避難状態」からも「避難」したい、という気持ちもあります。

(白河市→さいたま市／Tさん)



転勤は、世間的に認められているけれど、自主避難は世間的に「よくわからない…」「声をかけていいのかな…」という遠慮が、周りの人にあるのかな…。私も、うまく説明できるかな…という不安があります。

(南相馬市→坂戸市／Oさん)

自主避難は、地元のひとに対して「避難してすみません」という負い目があるから、転勤とは違うかもしれないね。「転勤してすみません」とは思わないもんね…。こちらでも「ここに居させてください」という気持ちがあります。

(白河市→さいたま市／Tさん)



いまの、借上住宅の支援が打ち切られたら、思い切って自分でお金を払って、借りるしかないのかな…と思っています。子どものために、学区内で探さないといけなければ、自主避難だから賠償もなく、経済的にきつい…。本音を言うと、避難住宅のためにお金はつかないです。

(いわき市→川崎市／Sさん)

「帰りたい」と子どもに言われたら、親としてはどうしたらいいのかな、と思うことがありますね。親としては避難を続けるつもりですが、高校生の男の子だけれど、じいちゃんが大好きで、会うたびに泣いているので。

(南相馬市→さいたま市／Tさん)

ある日、縁があつて出会った自主避難のママが、ぼつりと話してくれました。「新築で、こちらに家を買ったの。ほんとは、福島で買うつもりだったんだけどね。まわりの人からは『よかったね』『おめでとう』と言ってもらった。だけど、なぜか、悲しくて空しくて、泣いてしまいました」



森のつみ木広場

オイスカ



2014年12月23日に行われた、「ぼろろん♪クリスマスの時間」で行った、つみ木のワークショップ。子どもたちの様子とともに、レポートします。この日は公益財団法人オイスカの担当の方々が来て下さり、子ども12人、大人15人が集まりました。

紙芝居を使って森のお話をしました。

どんなつみ木が使われているのか?…「間伐材」?? 間伐材とは…植林した木が育つ過程で混みあった森から、曲がったり弱ったりした木を切ること。森の中を明るく保ちまっすぐな木を育てるための作業で、その際に切られた木のことを間伐材と言います。森から生まれた僕たちと楽しく触れ合うことで、みんなに森や環境のことを少しでも興味をもってほしい。という願いが込められたお話でした。みんな真剣な表情で聞いていました!



各自3種類のつみ木を使って、好きなものを作ります。

何もなかった空間にお城やタワーなど立体的なものから、つみ木で描いた魚や道路など平面的な作品まで、ユニークな作品ができました。いつの間にか友達と協力して作品を作る光景が見られたり、大人の方が真剣になって夢中になる姿が印象的でした。作品をくずす時は、やさしく抱きかかえるように「つみ木さんありがとう」の気持ちをこめて…



「つみ木シャワー」

赤いじゅうたんの上に子どもも大人も寝ころがり、その上に約1万個のつみ木がかげられます。カラン♪コロロン♪という心地よい木の音と「キャー!」という歓声が響きました。体の中でつみ木の香りとぬくもりを感じます。「木っていい香りがするんだね…」



天空の城ラピュタにでてくる「ロボット兵」を作った大人もいましたよ。



赤いじゅうたんの間に川を作り、みんなで一つの町を作ります。

家が出来て、道路や高いビル、そこから橋が出来ました。ベイブリッジ?にも負けなくらいの橋を作った子どももいました。お花の模様や魚や船もたくさんふえました。…みんなの作品をつないで一つにしたら大きなつみ木の町の出来上がり!「ぼろろん♪タウン」と名付けました。最初は恥ずかしそうにしていた子ども達も、自慢げの表情に!最後はみんなでお片づけ。ここでも子ども達は一生けんめいでしたよ。

ぼろろん♪の活動を始めて約半年。今回の積み木広場が初めての参加。という親子も何人かいました。初めは子どもたちの輪に溶け込めず一人で遊んでいた子も、つみ木のおもちゃを通じて協調性を育むイベントが出来たと感じました。私は避難者交流会に参加するまで2年かかりました。知らない土地で生活する重症に心が折れそうになっても子どもが前では親としての使命感を果たさなければならぬという責任に押し潰されそうな日々を送っていました。福玉便りの交流会を見ても、行く気になれず、そんな時、支援員さんの訪問がきっかけで交流会に参加しました。新しい事を始める第1歩は勇気もいるし、時間もかかるし、人それぞれ違うけど、目の前の扉を開けた瞬間、そこには必ずあなたの居場所がある事を忘れないで欲しいです。今回の積み木広場を読んで、自分の子どもの笑顔を作れるきっかけに!と感じてくれたらいいなと思います。お手紙ですよ ぼろろん♪ / T (南相馬市原町区↓さいたま市)

見つけた!福島に似たいこいの里山

ときがわ町

首都圏近郊にありながら穏やかな時間が流れるスポット、気軽に訪れたいくなる、昔懐かしい田舎



埼玉県のほぼ中央に位置する面積55平方キロメートルの小さな町です。関東平野の端で外秩父山地がまさに始まるとうする地域で町の面積のうち約7割が森林だそうです。森林の占める割合は福島県と同じくらいです。

一昨年の8月、福玉便りが主催した「ときがわで川遊びとバーベキュー」のイベントで、私は初めてときがわ町を訪れました。清流を上って散策し、広い川のスペースでは川泳ぎを体験しました。川辺にはバーベキューをするスペースもたくさんありました。とても気に入ってしまったので翌週も行ってしまいました。お蕎麦が美味しく大好きになりました。

参加された方たちの中には私のようにファンになった方も多いのでは? 豊かな大自然に囲まれて思いっきり腕を広げて伸びをして吸い込んだ空気は澄んでいて、まるで私たちのふるりの福島のようにでした。

ときがわ町でしかできない、とっておきの思い出づくりはいかが。

子育てママは子どもと一緒に色々な体験ができるので、親子で一日楽しめそうです。泉質の良い豊かな温泉につかれれば疲れた日常を忘れ、のんびりゆつたりできること請け合いです!

ときめきといやしを求めて緑豊かなときがわ町にぶらっと立ち寄ってみませんか。



昨年発行された観光ガイドブック『ぶらつと、ときがわ』には町の魅力が余すところなく紹介され、若い女性を中心に好評です。※町HPからご覧いただけます。



ブルーベリー摘みやジャム作り体験、みかん狩り体験、木の椅子、竹とんぼ作りなどの工芸体験や、ひもかわうどん作り体験など、美味しい郷土料理もたくさん。

豆知識▶森林は人間の手で植林され受け継がれてきた大切な資源です。間伐はより良い木を育てるために必要な作業で、土砂災害の防止にもつながります。私たちは収穫された木材で出来た製品を使うことで日本の森林を元気にするお手伝いが出来ます。

ぼろろん♪クリスマスの時間で間伐材が使われた、たくさんのつみ木をお持ちいただきました。その縁でときがわ町の職員さんかいらして下さり、本稿作成に際して、写真や情報提供にも多大なるご好意とご協力頂きました。お手紙ですよ ぼろろん♪ / T (白河市→さいたま市)



埼玉で見つけた美味しいお店

埼玉の「美味しい」ものをご紹介します。元気の源にもなる、「美味しい」を見つけに行きませんか？
 今回は、川越市付近にある「美味しいもの」です。
 ぜひ一度、チャンスをみつけて、食べてみてください。贈り物にもぴったりです。



- 冷凍すると90日保存可能です。
電話やインターネットで地方発送も受け付けています。
- TEL 049-226-2771
- HP <http://www.imokoi.com/>
または「いも恋」で検索してください。
- ecute 大宮店 JR 大宮駅構内
月～土 AM.8:00～PM.10:00
日・祝 AM.8:00～PM.8:30
- 川越駅前店 AM9:00～PM8:00
川越駅西口を出て右側に徒歩10秒
- 三芳パーキング 関越自動車道 24時間営業
- 工場直売店/時の鐘店/一番街店/坂戸駅前店
※パバマカードを提示すると500円毎にもらえるポイントが2倍になります。(三芳PA除く)

「いも恋」と聞くとご存知の方も多いのではないのでしょうか？店頭で蒸し器で湯気に包まれて販売されており、大人気の商品です。さつま芋とつぶ餡を、山芋ともち粉の生地で優しく包み、食べる際に温めることによって、皮がモチモチに、さつま芋のホックリ感とつぶ餡のしっとり感が溶け合いお口の中へ美味しさが広がります。関越自動車道の三芳サービスエリアから本年度、被災者の方々にとご寄付をいただきました。震災から5年目を迎え、私たちが忘れずにご支援させていただきます。感謝いたします。

「いも恋」と聞くとご存知の方も多いのではないのでしょうか？店頭で蒸し器で湯気に包まれて販売されており、大人気の商品です。さつま芋とつぶ餡を、山芋ともち粉の生地で優しく包み、食べる際に温めることによって、皮がモチモチに、さつま芋のホックリ感とつぶ餡のしっとり感が溶け合いお口の中へ美味しさが広がります。関越自動車道の三芳サービスエリアから本年度、被災者の方々にとご寄付をいただきました。震災から5年目を迎え、私たちが忘れずにご支援させていただきます。感謝いたします。

菓匠 右門

ビスエリアで人気NO.1に輝きました。
 右門さんが参加されている「国際ソロプチミスト埼玉」様より昨年度、本年度共にご寄付いただき、自主避難者のバスツアーを行いました。更に、右門さんから本年度、被災者の方々にとご寄付をいただきました。震災から5年目を迎え、私たちが忘れずにご支援させていただきます。感謝いたします。

匠屋本店 宮坂米菓



- 匠屋本店 本社工場
川越市下小阪 742
- 匠屋 月吉店
川越市月吉町 37-2
- 月～金 AM.8:30～PM.6:00

宮坂米菓さんは、震災直後の2011年3月に、被災者支援で「割れせん」を500箱も自社トラックで無償提供してくださいました。川越市の体育館に衣類などの支援物資の並ぶ一角に山積みされたおせんべいのダンボール。避難してきて間もない不安な毎日の中で食べていた「割れせん」の味は今でも忘れられませんが、それ以来、我が家では「割れせん」のファンです。

「火も使わないし、お腹も満たされるし、日持ちもするし、何か支援したい一心でした」と当時を振り返りお話ししてくださった宮坂米菓さんに感謝いたします。

「みんなで見つけたお店マップ」を作りたいね、と「お手紙ですよぼろろん」編集部で話し合いました。みなさんみつけた、美味しいお店、お気に入りのお店を教えてください。お待ちしております。
 (bxrxy915@yahoo.co.jp / 070-5080-4494 : ぼろろん編集部)

- 「こんなことが知りたい」「これを調べてほしい」など、お寄せいただけたらうれしいです。メールでも電話でもOKです。気が向いたら、ご連絡くださいね。
cheer@kxa.biglobe.ne.jp / 090-4226-9259
 お手紙ですよ ぼろろん♪ 担当：吉田(千)
- ♪メンバーリストに登録しませんか？
 自主避難のママが情報交換するメンバーリストがあります。cheer@kxa.biglobe.ne.jp 吉田(千)までご連絡ください。
- 感想やご意見・ご要望もお待ちしています。